

5

BIOS セットアップについて

本章では、BIOS セットアッププログラムの使い方と機能について説明します。BIOS セットアッププログラムを使って、パソコン本体のシステム構成の設定や、パスワードの登録 / 削除などができます。

1	BIOS セットアップとは.....	144
2	BIOS を工場出荷時設定に戻すには	148
3	STANDARD CMOS SETUP の詳細....	149
4	ADVANCED CMOS SETUP の詳細	151
5	ADVANCED CHIPSET SETUP の詳細	154
6	POWER MANAGEMENT SETUP の詳細 ...	155
7	PCI/PLUG AND PLAY SETUP の詳細	160
8	PERIPHERAL SETUP の詳細	162
9	HARDWARE MONITOR SETUP の詳細 ...	165
10	Auto-DETECT HARD DISKS	166
11	Password の設定	167
12	工場出荷時の設定値	169

① BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使い方などを本体に設定するプログラムのことです。

BIOS セットアップで設定された情報は、CMOS-RAM と呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリーで保持されます。メモリの増設やハードディスク装置の増設等の変更をしない限り、1 度 BIOS セットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリーが消耗すると BIOS セットアップは既定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。



メモ

・ BIOS セットアップ画面は英語表示のみです。日本語での、項目 / 説明の表示はありません。

① BIOS セットアップの起動方法

1 キーボードの **Delete** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

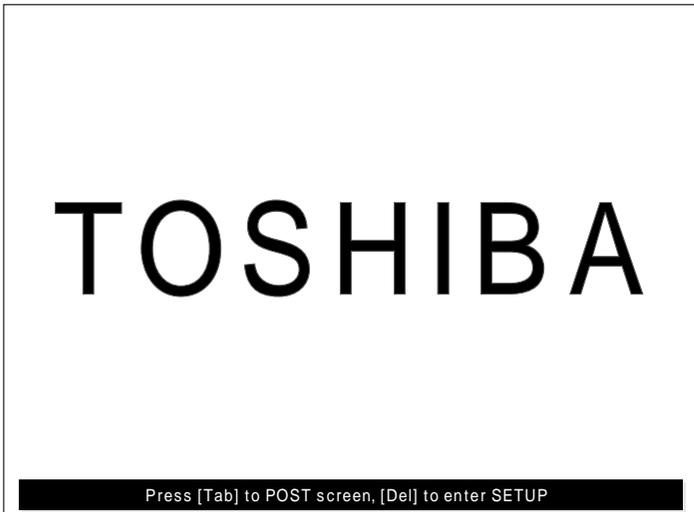
「AMIBIOS HIFLEX SETUP UTILITIES」と表示されたら **Delete** キーを離してください。



お願い

・ **Delete** キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから数秒間です。この時間内に **Delete** キーを押さないと、システムが起動します。

BIOS セットアップが起動できなかった場合は、通常の終了操作を行なってパソコン本体の電源を切り、上記の手順 1 をやり直してください。

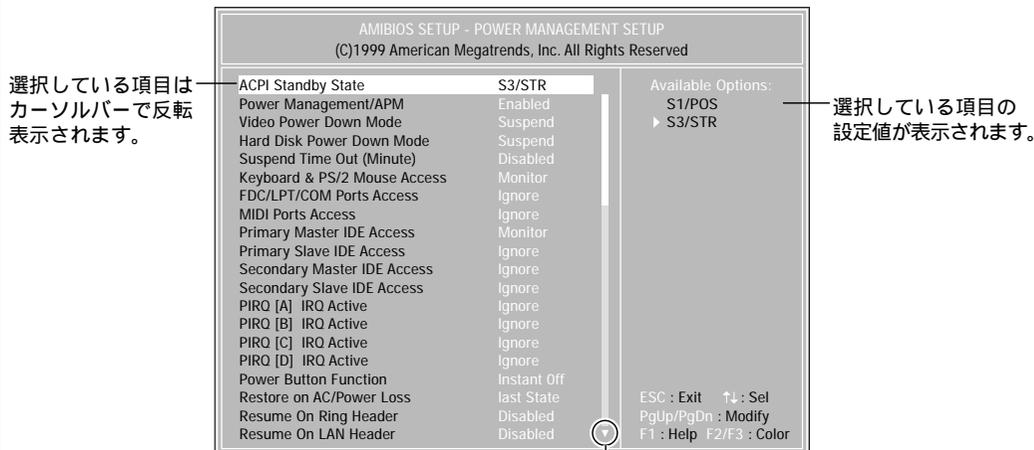


TOSHIBA

Press [Tab] to POST screen, [Del] to enter SETUP

2 BIOS セットアップの操作方法

● BIOS セットアップ画面について



選択している項目はカーソルバーで反転表示されます。

選択している項目の設定値が表示されます。

や が表示された場合は、表示画面より上下に項目があることを示します。上下の項目を表示するためには キーを押します。

● 使用するキーについて

BIOS セットアップでは、マウスが使用できないため、キーボード上のキーで、メニューや項目の移動、値の入力などを行います。ここでは、BIOS セットアップで主に使用するキーについて説明します。

キー

1 つ前の項目に移動します。

キー

1 つ先の項目に移動します。

PageUp キー

項目の選択値を 1 つ前の値に変更します。

PageDown キー

項目の選択値を 1 つ後の値に変更します。

F10 キー

現在の設定を保存し (CMOS-RAM に書き込み) BIOS セットアップを終了して、システムを起動します。

メインメニュー画面で、 F10 キーを押すと「Save current settings and exit (Y/N) ? Y」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合は Y キーを、保存しないでセットアップを続ける場合は N キーを押して Enter キーを押します。

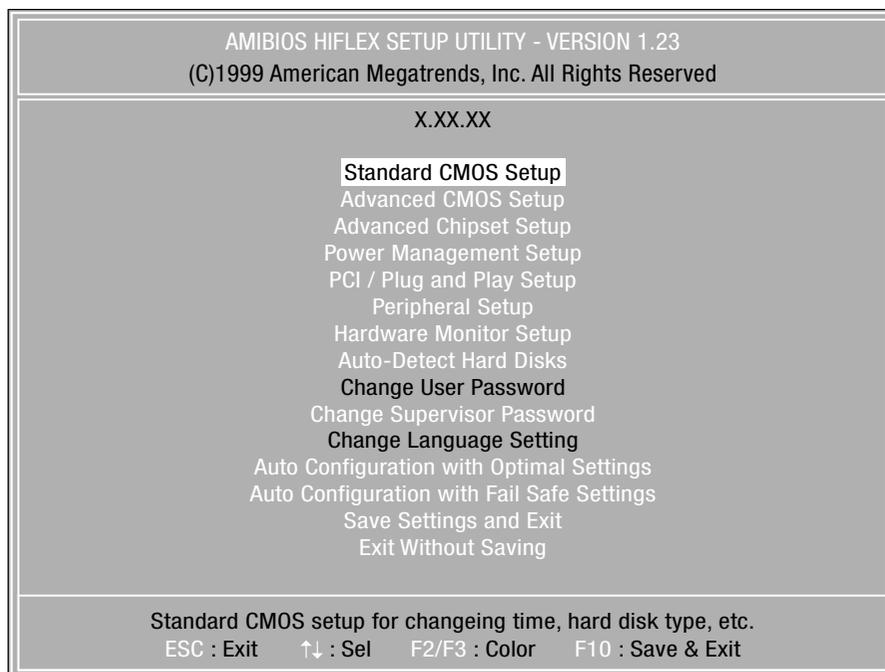
● [Esc] キー

メインメニュー画面で [Esc] キーを押すと「Quit Without Saving (Y/N) ? N」というメッセージが表示されます。設定を保存しないで終了する場合には [Y] キーを、終了しないでセットアップを続ける場合は [N] キーを押して [Enter] キーを押します。

サブメニュー中では、1 つ前の状態に戻したり、1 つ前の画面を表示します。

3 BIOS セットアップの内容

メインメニューは次のような画面です。



BIOS セットアップには次のサブメニューがあります。

- Standard CMOS Setup
日付や時間などを設定します。
- Advanced CMOS Setup
起動する装置や、ディスプレイの表示などを設定します。
- Advanced Chipset Setup
チップセットの設定をします。
- Power Management Setup
省電力などの設定をします。
- PCI / Plug and Play Setup
プラグアンドプレイの設定をします。
- Peripheral Setup
周辺機器の設定をします。

- **Hardware Monitor Setup**

現在のパソコン本体の動作状態を表示します。

- **Auto-Detect Hard Disks**

接続されている装置を検出します。



メモ

・装置が接続されると [Standard CMOS Setup] の項目にある [Type] が [Auto] 以外の接続されている装置に変わります。
[Type] が [Auto] 以外の設定になると、ドライブを認識できなくなることがあります。
[Auto-Detect Hard Disks] を実行した後は、[Standard CMOS Setup] で [Type] の設定を [Auto] に変更してください。

- **Change User Password**

ユーザパスワードの設定・変更をします。

スーパーバイザパスワードが設定されている場合のみ有効です。

- **Change Supervisor Password**

スーパーバイザパスワードの設定・変更をします。

- **Change Language Setting**

本装置では設定できません。

- **Auto Configuration with Optimal Settings**

設定を初期状態に戻します。

- **Auto Configuration with Fail Safe Settings**

設定をフェイルセーフの初期状態に戻します。

システムが正常に動かなくなってしまった場合のみ使用します。

- **Save Settings and Exit**

設定した内容を CMOS に保存し、セットアップを終了します。

- **Exit Without Saving**

CMOS の内容を変更せずにセットアップを終了します。

なお、BIOS セットアップの内容は出荷時期により多少異なる場合があります。

2

BIOS を工場出荷時設定に戻すには

- 1** BIOS セットアップを起動する
☞ BIOS セットアップの起動方法 ☞ 「本章 1-1 BIOS セットアップの起動方法」
- 2** メインメニューより「Auto Configuration with Optimal Settings」を選択し、**[Enter]**キーを押す
「Load high performance settings (Y/N) ? N」というメッセージが表示されます。
既定値に戻す場合は「Y」、戻さずにセットアップを続ける場合は「N」を選択します。
- 3** 各項目を工場出荷時の設定にする
☞ 工場出荷時の設定値 ☞ 「本章 11 工場出荷時の設定値」
- 4** **[Esc]**キーを押し、**[F10]**キーで設定を保存する
「Save current setting and exit (Y/N) ? Y」のメッセージが表示されるので「Y」が選択されていることを確認し、**[Enter]**キーを押します。
変更した設定を保存して終了します。

STANDARD CMOS SETUP では日時の設定、フロッピーディスク装置、ハードディスク装置の設定などを行います。

```

AMIBIOS SETUP - STANDARD CMOS SETUP
(C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved

Date (mm/dd/yyyy) : Sat Jul 01, 2000          Base Memory : 640MB
Time (hh/mm/ss)   : 12:30:00                  Extd Memory : 62 MB

Floppy Drive A : 1.44 MB 3 1/2
Floppy Drive B : Not Installed

                                LBA  Bk  PIO  32Bit
                                Mode Mode Mode Mode
Type      Size  Cyln  Head  WPcom  Sec
Pri Master : Auto
Pri Slave  : Auto
Sec Master : Auto
Sec Slave  : Auto

Boot Sector Virus Protection  Disabled

Month : Jan - Dec
Day   : 01 - 31
Year  : 1901 - 2099

ESC : Exit  ↑↓ : Sel
PgUp/PgDn : Modify
F1 : Help  F2/F3 : Color
  
```

(注) 画面は一例です。

Date (mm/dd/yyyy)

年(西暦)月日を設定します。

[月/日/年]の項目移動には、 キーまたは Tab キーを使います。

Time (hh/mm/ss)

時刻(24時間単位)を設定します。

[時:分:秒]の項目移動には、 キーまたは Tab キーを使います。

Base Memory

システムメモリ量を表示します。(表示のみ)

Extd Memory

拡張メモリ量を表示します。(表示のみ)

アドバンスドメニューでは起動する装置の順番や周辺装置についての設定を行います。

AMIBIOS SETUP - ADVANCED CMOS SETUP (C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved			
CPU Ratio Selection	Locked	Available Options: Disabled IDE HDD ▶ Floppy LS-120/ZIP ATAPI ZIP CDROM SCSI NETWORK	
1st Boot Device	Floppy		
2nd Boot Device	CDROM		
3rd Boot Device	IDE-0		
BootUp Num-Lock	On		
Floppy Drive Swap	Disabled		
Floppy Drive Seek	Disabled		
PS/2 Mouse Support	Enabled		
Primary Display	VGA/EGA		
Password Check	Setup		
System BIOS Cacheable	Disabled		
C000, 64k Shadow	Cached		
D000, 64k Shadow	Disabled		
			ESC : Exit ↑↓ : Sel PgUp/PgDn : Modify F1 : Help F2/F3 : Color

(注) 画面は一例です。

CPU Ratio Selection

CPUの動作周波数を基本クロックの倍数で示します。

本装置では自動設定されるため、設定を変更しても無効となります。

- Locked

1st Boot Device

2nd Boot Device

3rd Boot Device

ドライブが起動する順番を指定できます。

- Disabled
- IDE HDD
- Floppy
- LS-120/ZIP
- ATAPI ZIP
- CDROM
- SCSI
- NETWORK

BootUp Num-Lock

この設定を Off に設定すると、パソコン本体が起動する際に NumLock キーをオフにします。

- On
- Off

Floppy Drive Swap

Enabled に設定すると、フロッピーディスク装置が 2 つある場合、ドライブを変換します。

- Disabled
- Enabled

Floppy Drive Seek

Enabled に設定すると、起動時にフロッピーディスク装置をシークします。

- Disabled
- Enabled

PS/2 Mouse Support

[Enabled] に設定すると、PS/2 マウスをサポートします。

- Enabled
- Disabled

Primary Display

ディスプレイモニタの種類とディスプレイアダプタを指定します。

- Absent
- VGA/EGA
- CGA40 × 25
- CGA80 × 25
- Mono

Password Check

パソコン本体が起動するたび、もしくは、BIOS のセットアップを実行するたびにパスワードチェックを行なうように設定できます。

パスワードが設定されている場合のみ有効です。

[Always] を選択すると、パソコンを起動するたびにパスワード入力画面が表示されます。

[Setup] を選択すると、BIOS のセットアップを実行するたびにパスワード入力画面が表示されます。

- Setup
- Always

System BIOS Cacheable

[Enabled] に設定すると、より速く動作させるために BIOS ROM の内容をコピーしているシステムメモリのセグメント「F0000h」部の内容を、2 次キャッシュに読み込んだり、2 次キャッシュに書き込むことができます。

- Disabled
- Enabled

C000, 64k Shadow

特定のメモリ領域から始まる ROM の内容を制御します。

[Disabled] ビデオ ROM の内容は RAM にコピーされません。RAM の内容をキャッシュメモリに読み込んだり、書き込んだりしません。

[Enabled]: 「C000h」 - 「DC00h」部の内容はシステムメモリ (RAM) の同じアドレスに書き込まれます。

[Cached]: RAM にコピーされた ROM の内容をさらにキャッシュメモリに読み込み、書き込みます。

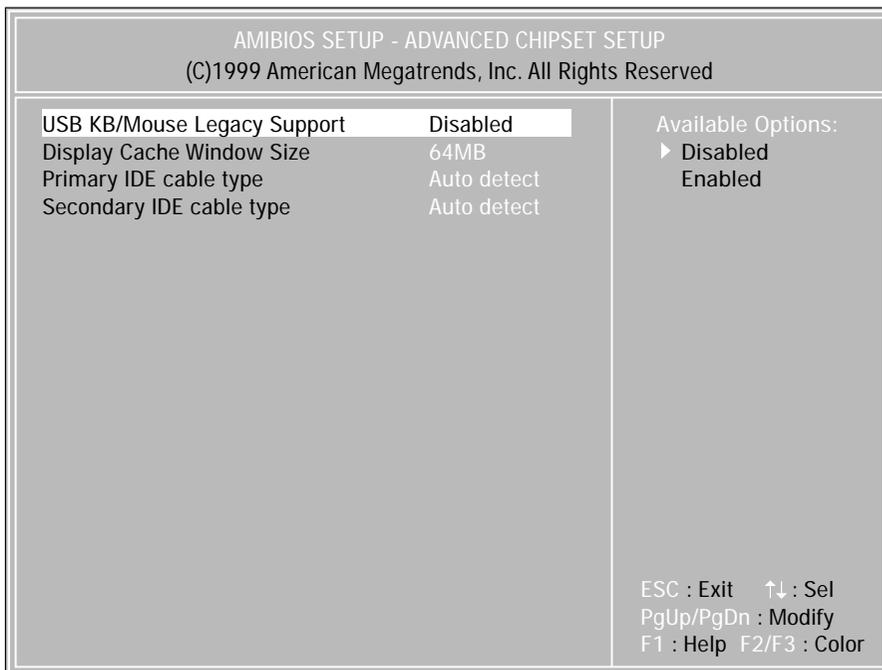
- Disabled
- Enabled
- Cached

D000, 64k Shadow

上記の「C000, 64k Shadow」と同様の機能です。

- Disabled
- Enabled
- Cached

周辺機器や本装置のチップセットの設定を行います。



(注) 画面は一例です。

USB KB/Mouse Legacy Support

レガシーキーボードおよびマウスのUSBサポートを有効にします。

- Disabled
- Enabled

Display Cache Window Size

ディスプレイのキャッシュウィンドウのサイズを設定します。

- 64MB
- 32MB

Primary IDE cable type Secondary IDE cable type

それぞれのIDEインタフェースで使用するケーブルのタイプを設定します。

- 80 pin cable
- 40 pin cable
- Auto detect

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。

画面上部

AMIBIOS SETUP - POWER MANAGEMENT SETUP		
(C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved		
ACPI Standby State	S3/STR	Available Options: S1/POS ▶ S3/STR
Power Management/APM	Enabled	
Video Power Down Mode	Suspend	
Hard Disk Power Down Mode	Suspend	
Suspend Time Out (Minute)	Disabled	
Keyboard & PS/2 Mouse Access	Monitor	
FDC/LPT/COM Ports Access	Ignore	
MIDI Ports Access	Ignore	
Primary Master IDE Access	Monitor	
Primary Slave IDE Access	Ignore	
Secondary Master IDE Access	Ignore	
Secondary Slave IDE Access	Ignore	
PIRQ [A] IRQ Active	Ignore	
PIRQ [B] IRQ Active	Ignore	
PIRQ [C] IRQ Active	Ignore	
PIRQ [D] IRQ Active	Ignore	
Power Button Function	Instant Off	
Restore on AC/Power Loss	last State	ESC : Exit ↑↓ : Sel
Resume On Ring Header	Disabled	PgUp/PgDn : Modify
Resume On LAN Header	Disabled	F1 : Help F2/F3 : Color

(注) 画面は一例です。

画面下部

AMIBIOS SETUP - POWER MANAGEMENT SETUP		
(C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved		
FDC/LPT/COM Ports Access	Ignore	Available Options: ▶ Disabled Enabled
MIDI Ports Access	Ignore	
Primary Master IDE Access	Ignore	
Primary Slave IDE Access	Ignore	
Secondary Master IDE Access	Ignore	
Secondary Slave IDE Access	Ignore	
PIRQ [A] IRQ Active	Ignore	
PIRQ [B] IRQ Active	Ignore	
PIRQ [C] IRQ Active	Ignore	
PIRQ [D] IRQ Active	Ignore	
Power Button Function	Instant Off	
Restore on AC/Power Loss	last State	
Resume On Ring Header	Disabled	
Resume On LAN Header	Disabled	
PCI Slot PME Function Support	Disabled	
Resume On RTC Alarm	Disabled	
RTC Alarm Date	15	
RTC Alarm Hour	12	ESC : Exit ↑↓ : Sel
RTC Alarm Minute	30	PgUp/PgDn : Modify
RTC Alarm Second	30	F1 : Help F2/F3 : Color

(注) 画面は一例です。

ACPI Standby State

Windows 98 および Windows 2000 での省電力モードの状態を指定します。[S3/STR] の方が、省電力モード時の消費電力を抑えられますが、PCI スロットもしくは USB コネクタに増設したデバイスによっては、[S3/STR] をサポートしていない場合があります。問題が発生する場合は、[S1/POS] に設定してください。

- S1/POS Power On Suspend : 周辺デバイスの電源を切断する
- S3/STR Suspend To RAM : メモリ以外の電源を切断する

Power Management/APM

省電力管理および、APM(Advanced Power Management)を可能にします。

- Disabled
- Enabled

Video Power Down Mode

ビデオサブシステムが、一定のシステム停止期間後に移行する、省電力モードを特定します。

- Disabled
- Suspend

Hard Disk Power Down Mode

ハードディスクドライブが、一定のシステム停止期間後に移行する、省電力モードを特定します。

- Disabled
- Suspend

Suspend Time Out (Minute)

サスペンドモードに移行する前の、システム停止期間を設定します。サスペンドモードでは、消費電力が大幅に節約されます。

- Disabled
- 1
- 2
- 4
- 8
- 10
- 20
- 30
- 40
- 50
- 60

Keyboard & PS/2 Mouse Access

[Monitor] に設定している場合は、キーボードや PS/2 マウスから入力があったときに省電力モードを解除します。

- Ignore
- Monitor

FDC/LPT/COM Ports Access

[Monitor] に設定している場合は、それぞれのポートにアクセスしたときに省電力モードを解除します。

- Ignore
- Monitor

MIDI Ports Access

[Monitor] に設定している場合は、MIDI ポートにアクセスしたときに省電力モードを解除します。

- Ignore
- Monitor

Primary Master IDE Access

Primary Slave IDE Access

Secondary Master IDE Access

Secondary Slave IDE Access

[Monitor] に設定している場合は、それぞれの IDE インタフェースにアクセスしたときに省電力モードを解除します。

- Ignore
- Monitor

PIRQ [A] IRQ Active

PIRQ [B] IRQ Active

PIRQ [C] IRQ Active

PIRQ [D] IRQ Active

[Monitor] に設定している場合には、それぞれの IRQ にアクセスしたときに省電力モードを解除します。

- Ignore
- Monitor

Power Button Function

電源スイッチの用途を設定します。[Instant Off] に設定された場合、電源スイッチを押すことにより、システムの電源のオン・オフが可能になります。

[Delay 4 Sec] に設定された場合は、電源スイッチを 4 秒押し続けることにより、システムの電源オフが可能になります。

- Instant Off
- Delay 4 Sec

Restore on AC/Power Loss

停電などの不具合によりシステムがシャットダウンした場合、電源が復帰した後にシステムを、パワーオンの状態に戻す設定が可能です。

- Power On
- Power Off
- Last State

Resume On Ring Header

シリアル Ring Indicator (RI) ラインの入力 (モデムへの入電) シグナルで、システムを省電力モードから、通常の状態に戻します。

- Disabled
- Enabled

Resume On LAN Header

WOL コネクタを介した PCILAN カードからの入力で、システムを起動または省電力モードを解除します。

- Disabled
- Enabled

PCI Slot PME Function Support

PME 信号の入力でシステムを起動または省電力モードを解除します。
内蔵 LAN の Wake On LAN 機能を使用するためには [Enabled] に設定してください。

- Disabled
- Enabled

Resume On RTC Alarm

[Enabled] に設定された場合、省電力モードの状態から、通常の状態に戻すまでの日、時間を設定できます。

- Disabled
- Enabled

RTC Alarm Date

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する日を設定できます。

- 1, 2, ..., 31 day, Every Day

RTC Alarm Hour

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する時間を設定できます。

- 0, 1, 2, ..., 23 hours

RTC Alarm Minute

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する分を設定できます。

・ 0, 1, 2, ..., 59 minutes

RTC Alarm Second

[Resume On RTC Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、アラームが開始する秒を設定できます。

・ 0, 1, 2, ..., 59 seconds

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。

AMIBIOS SETUP - PCI / PLUG AND PLAY SETUP		
(C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved		
Plug and Play Aware O/S	No	Available Options: ▶ No Yes
Clear NVRAM	No	
Primary Graphics Adapter	Add-on VGA	ESC : Exit ↑↓ : Sel PgUp/PgDn : Modify F1 : Help F2/F3 : Color
PCI VGA Palette Snoop	Disabled	
Allocate IRQ to PCI VGA	Yes	
DMA Channel 0	PnP	
DMA Channel 1	PnP	
DMA Channel 3	PnP	
DMA Channel 5	PnP	
DMA Channel 6	PnP	
DMA Channel 7	PnP	
IRQ3	PCI/PnP	
IRQ4	PCI/PnP	
IRQ5	PCI/PnP	
IRQ7	PCI/PnP	
IRQ9	PCI/PnP	
IRQ10	PCI/PnP	
IRQ11	PCI/PnP	
IRQ14	PCI/PnP	
IRQ15	PCI/PnP	

(注) 画面は一例です。

Plug and Play Aware O/S

[No] に設定すると、BIOS がデフォルトのリソースの割り当てを行います。

[Yes] に設定すると、BIOS は最低限のリソースのみ割り当てを行います。

この項目は、Windows 98 モデルでは [Yes] に、Windows 2000 / NT モデルでは [No] に設定されています。



お願い

・ Windows NT モデルでは、必ず、[No] に設定してください。

- ・ No
- ・ Yes

Clean NVRAM

[Yes] に設定すると、NVRAM の内容を初期化します。

市販の PCI カードを増設して正常に作動しない場合は、[Yes] に設定して NVRAM の内容を初期化してください。

- ・ No
- ・ Yes

Primary Graphics Adapter

内蔵グラフィックと PCI グラフィックカードを同時に使用している場合、どちらを標準にするかを設定します。

- ・ OnBoard VGA
- ・ Add-on VGA

PCI VGA Palette Snoop

PCI グラフィックカードに、本装置の内蔵パレットを使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled
- ・ Enabled

Allocate IRQ to PCI VGA

[Yes] に設定すると、PCI グラフィックカードおよび内蔵グラフィックの IRQ を割り当てます。

- ・ No
- ・ Yes

DMA Channel 0,1,3,5,6,7

指定された DMA チャンネルが使用するバスタイプを設定します。

- ・ PnP
- ・ ISA/EISA

IRQ 3,4,5,7,9,10,11,14,15

プラグアンドプレイに対応していないカードで使用する IRQ を割り当てるときは [ISA/EISA] に設定します。

オンボードの周辺機器は、PCI/PnP と設定され、BIOS によって割り当てられます。

- ・ PCI/PnP
- ・ ISA/EISA

パソコンが起動する際の設定を行います。

AMIBIOS SETUP - PERIPHERAL SETUP (C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved		
OnBoard AC '97 Audio	Enabled	Available Options: ▶ Enabled Disabled
OnBoard AC '97 Modem	Disabled	
OnBoard IDE	Both	
OnBoard FDC	Auto	
OnBoard Serial PortA	Auto	
OnBoard Serial PortB	Disabled	
OnBoard Parallel Port	Auto	
Parallel Port Mode	ECP	
Parallel Port IRQ	Auto	
Parallel Port DMA Channel	Auto	
OnBoard Midi Port	330	
Midi IRQ Select	9	
OnBoard Game Port	200	
Keyboard PowerOn Function	Disabled	
Specific Key for PowerOn	N/A	
Mouse PowerOn Function	Disabled	
ESC : Exit ↑↓ : Sel PgUp/PgDn : Modify F1 : Help F2/F3 : Color		

(注) 画面は一例です。

OnBoard AC'97 Audio

メインボードのオーディオコントローラを使用可能にします。

- Enabled
- Disabled

OnBoard AC'97 Modem

メインボードのモデムを使用可能にします。



お願い

- メインボードにはモデムを搭載していないので、[Disabled] に設定してください。
[Enabled] を設定していると、PC カードを検出する場合があります。

- Enabled
- Disabled

OnBoard IDE

メインボードの PCI ローカルバスの IDE コントローラを設定します。

- Disabled
- Primary
- Secondary
- Both

OnBoard FDC

メインボードのフロッピードライブコントローラーを使用可能にします。

- ・ Auto
- ・ Disabled
- ・ Enabled

OnBoard Serial PortA

メインボードのシリアルポート A を使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Auto
- ・ Disabled
- ・ 3F8/COM1
- ・ 2F8/COM2
- ・ 3E8/COM3
- ・ 2E8/COM4

OnBoard Serial PortB

メインボードのシリアルポート B を使用可能にし、ベースアドレスを指定します。



お願い

・ 本装置にはシリアルポート B を搭載していないので、[Disabled] に設定してください。

- ・ Auto
- ・ Disabled
- ・ 3F8/COM1
- ・ 2F8/COM2
- ・ 3E8/COM3
- ・ 2E8/COM4

OnBoard Parallel Port

メインボードの平行ポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Auto
- ・ Disabled
- ・ 378
- ・ 278
- ・ 3BC

Parallel Port Mode

平行ポートのモードを設定します。

- ・ Normal
- ・ Bi-Dir
- ・ EPP
- ・ ECP

Parallel Port IRQ

平行ポートの IRQ を設定します。

- ・ Auto
- ・ 5
- ・ 7

Parallel Port DMA Channel

パラレルポートのDMAチャンネルを設定します。

- ・ Auto
- ・ 0
- ・ 1
- ・ 3

OnBoard Midi Port

メインボードのMIDIポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled
- ・ 330
- ・ 300
- ・ 290
- ・ 292

▼ Midi IRQ Select

[On Board Midi Port] でベースアドレスを指定したときに、MIDIポートのIRQを設定できます。

- ・ 5
- ・ 7
- ・ 9
- ・ 10

OnBoard Game Port

メインボードのゲームポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled
- ・ 200
- ・ 208

Keyboard PowerOn Function

キーボードから電源を入れる機能を設定します。

- ・ Disabled
- ・ Any Key
- ・ Specific Key

Specific Key for PowerOn

[Keyboard Power On Function] で [Specific Key] に設定した場合に、電源を入れるための特定のキー（パスワード）を設定できます。

「Enter new keyboard wake up password : 」というメッセージの後にパスワードを入力し、設定します。

Mouse PowerOn Function

マウスから電源を入れる機能を設定します。

- ・ Disabled
- ・ Left-button
- ・ Right-button

パソコンの動作状態を表示します。

AMIBIOS SETUP - HARDWARE MONITOR SETUP	
(C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved	
--≡ System Hardware Monitor ≡--	
Current System Temperature	35°C/95°F
Current CPU Fan Speed	3515 RPM
Current Chassis Fan Speed	0 RPM
CPU VID	1.50 V
Vcare	1.408 V
Vtt	1.472 V
Vio	3.280 V
+ 5.000V	5.140 V
+ 12.000V	11.680 V
- 12.000V	-12.071V
- 5.000V	N/A
Battery	3.152 V
+5V SB	4.969 V
ESC : Exit ↑↓ : Sel PgUp/PgDn : Modify F1 : Help F2/F3 : Color	

(注) 画面は一例です。

現在のシステムの温度やCPUファンのスピードなどが表示されます。

AMIBIOS SETUP - STANDARD CMOS SETUP										
(C)1999 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved										
Date (mm/dd/yyyy) : Fri Dec 01, 2000						Base Memory : 640MB				
Time (hh/mm/ss) : 12:30:00						Extd Memory : 62 MB				
Floppy Drive A : 1.44 MB 3 1/2										
Floppy Drive B : Not Installed										
	Type	Size	Cyln	Head	WPcom	Sec	LBA Mode	Blk Mode	PIO Mode	32Bit Mode
Pri Master	: User	13666	26477	16	0	63	On	On	4	On
Pri Slave	: Not Installed									
Sec Master	: CDR0M								4	On
Sec Slave	: Not Installed									
Boot Sector Virus Protection						Disabled				
Month : Jan - Dec						ESC : Exit ↑↓ : Sel				
Day : 01 - 31						PgUp/PgDn : Modify				
Year : 1901 - 2099						F1 : Help F2/F3 : Color				

(注) 画面は一例です。

接続されている装置を検出します。

装置が検出されると [Standard CMOS Setup] の項目にある [Type] が [Auto] 以外の接続されている装置に変わります。

[Type] が [Auto] 以外の設定になると、ドライブが認識できなくなることがあります。 [Auto-Detect Hard Disks] を実行した後は、 [Standard CMOS Setup] で [Type] の設定を [Auto] に変更してください。

11 Password の設定

パソコン本体にパスワードを設定して、他の人がパソコンを使用したり、設定を変えたりできないようにできます。

電源投入時にパスワードを正しく入力しないとパソコン本体は使用できません。

パスワードにはユーザパスワード (User Password) と管理者用パスワード (Supervisor Password) の 2 つがあり [Change User Password] では User Password を、[Change Supervisor Password] では Supervisor Password を設定できます。

Supervisor Password を設定しないと User Password を設定することができません。



お願い

- ・パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えてください。
- ・パスワードを登録した場合は、省電力モード時から解除するときに、パスワードの入力が必要になります。
- ・パスワードは表示されませんので確認することはできません。
- ・パスワードを忘れてしまった場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションにパスワードの解除をご依頼ください。
パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。

Change Supervisor Password

管理者パスワードの設定、変更を行います。

[Change Supervisor Password] でパスワードを設定している場合、パソコンを起動すると「Enter Current Supervisor Password」というメッセージが表示されます。設定したパスワードを入力すると画面が表示されます。

Enter Current Supervisor password

現在のパスワードを入力します。

Enter new supervisor password

新しいパスワードを入力します。

Retype new supervisor password

確認のためパスワードを再入力します。



メモ

- ・管理者パスワードを使用しているときは、BIOS セットアップのすべての項目を設定できます。

Change User Password

ユーザパスワードの設定、変更を行います。[Change User Password] でパスワードを設定している場合、パソコンを起動すると「Enter Current User Password」というメッセージが表示されます。設定したパスワードを入力すると画面が表示されます。

[Supervisor Password] が設定されていないと、[User Password] を設定することはできません。

Enter Current User password

現在のパスワードを入力します。

Enter new User password

新しいパスワードを入力します。

Retype new User password

確認のためパスワードを再入力します。



メモ

- ・ユーザパスワードでパソコンを起動した場合は、BIOS セットアップで設定変更できる項目は制限されます。

項目の設定については各メニューの詳細をご覧ください。

STANDARD CMOS SETUP

項目		工場出荷時の設定値
Floppy Drive A		1.44MB 3 1/2"
Floppy Drive B		Not Installed
Pri Master	Type	Auto
	32Bit Mode	On
Pri Slave	Type	Auto
	32Bit Mode	On
Sec Master	Type	Auto
	32Bit Mode	On
Sec Slave	Type	Auto
	32Bit Mode	On
Boot Sector Virus Protection		Disabled

ADVANCED CMOS SETUP

項目	工場出荷時の設定値
CPU Ratio Selection	Locked
1st Boot Device	Floppy
2nd Boot Device	CD-ROM
3rd Boot Device	IDE-0
BootUp Num-Lock	On
Floppy Drive Swap	Disabled
Floppy Drive Seek	Disabled
PS/2 Mouse Support	Enabled
Primary Display	VGA / EGA
Password Check	Always
System BIOS Cacheable	Disabled
C000, 64k Shadow	Cached
D000, 64k Shadow	Disabled

ADVANCED CHIPSET SETUP

項目	工場出荷時の設定値
USB Keybd/Mouse Legacy Support	Disabled
Display Cache Window Size	64MB
Primary IDE cable type	Auto detect
Secondary IDE cable type	Auto detect

POWER MANAGEMENT SETUP

項目	工場出荷時の設定値	
	Windows 98	Windows NT / 2000
ACPI Standby State	S3/STR	
Power Management/APM	Enabled	
Video Power Down Mode	Suspend	
Hard Disk Power Down Mode	Suspend	
Suspend Time Out (Minute)	20min	Disabled
Keyboard & PS/2 Mouse Access	Monitor	
FDC/LPT/COM Ports Access	Ignore	
MIDI Ports Access	Ignore	
Primary Master IDE Access	Ignore	Monitor
Primary Slave IDE Access	Ignore	
Secondary Master IDE Access	Ignore	
Secondary Slave IDE Access	Ignore	
PIRQ [A] IRQ Active	Ignore	
PIRQ [B] IRQ Active	Ignore	
PIRQ [C] IRQ Active	Ignore	
PIRQ [D] IRQ Active	Ignore	
Power Button Function	Instant Off	
Restore on AC/Power Loss	Power Off	
Power On Ring Header	Disabled	
Resume On LAN Header	Disabled	
PCI Slot PME Function Support	Enabled	
Resume On RTC Alarm	Disabled	
RTC Alarm Date	-	
RTC Alarm Hour	-	
RTC Alarm Minute	-	
RTC Alarm Second	-	

PCI / PLUG AND PLAY SETUP

項目	工場出荷時の設定値	
	Windows 98	Windows NT / 2000
Plug & Play Aware O/S	Yes	No
Clear NVRAM	No	
Primary Graphics Adapter	Add-on VGA	
PCI VGA Palette Snoop	Disabled	
Allocate IRQ to PCI VGA	Yes	
DMA Channel 0	PnP	
DMA Channel 1	PnP	
DMA Channel 3	PnP	
DMA Channel 5	PnP	
DMA Channel 6	PnP	
DMA Channel 7	PnP	
IRQ 3	PCI/PnP	
IRQ 4	PCI/PnP	
IRQ 5	PCI/PnP	
IRQ 7	PCI/PnP	
IRQ 9	PCI/PnP	
IRQ 10	PCI/PnP	
IRQ 11	PCI/PnP	
IRQ 14	PCI/PnP	
IRQ 15	PCI/PnP	

PERIPHERAL SETUP

項目	工場出荷時の設定値
OnBoard AC '97 Audio	Enabled
OnBoard AC '97 Modem	Disabled
OnBoard IDE	Both
OnBoard FDC	Auto
OnBoard Serial PortA	Auto
OnBoard Serial PortB	Disabled
OnBoard Parallel Port	Auto
Parallel Port Mode	ECP
Parallel Port IRQ	Auto
Parallel Port DMA Channel	Auto
OnBoard Midi Port	330
Midi IRQ Select	9
OnBoard Game Port	200
KeyBoard PowerOn Function	Disabled
Specific Key for PowerOn	N/A
Mouse PowerOn Function	Disabled

6

カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方

Windows 98 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD が同梱されています。

本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使い方について説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは 174
- 2** 標準システムを復元する 175
- 3** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 モデル) 178
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 モデル) 179

① カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは

① カスタム・リカバリ CD とは (Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルには次のカスタム・リカバリ CD が同梱されています。

- ・ Product Recovery CD-ROM
- ・ アプリケーション & ドライバ CD-ROM

カスタム・リカバリ CD は、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

最小構成でシステムを復元する

Windows を復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する (Windows 98 モデル)」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションを再インストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98 モデル)」



メモ

・カスタム・リカバリ CD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリ CD とは (Windows 2000 / NT モデル)

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリ CD は何らかの障害によって、ハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000 / NT モデルには、アプリケーション CD-ROM (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーション CD-ROM は、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項についてはアプリケーション CD-ROM を CD-ROM 装置にセットし、Autorun 機能により表示される初期画面をご覧ください。



メモ

・リカバリ CD / アプリケーション CD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

① 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書（本書）



メモ

- ・Windows 2000 / NT モデルの場合、工場出荷時のパーティション設定は、最初の 4GB が NTFS (C:) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、Windows 2000 の場合は「ディスクの管理」、Windows NT の場合は「ディスクアドミニストレータ」を使用してください。

⇒ 空き領域の使用方法 ⇨ 「4 章 8 5 増設ハードディスク装置の設定」

② 操作手順

Windows 98 モデルの場合



注意

- ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- ・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device] [2nd Boot Device] [3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

⇒ BIOS セットアップについて ⇨ 「5 章 BIOS セットアップについて」

- 1 パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などは、はずしてください。
- 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM 装置にセットする
- 3 パソコンを再起動する
システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 4 **[1]**キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 5 **[Y]**キーを押す
処理を中止する場合は、**[N]**キーを押してください。
ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

6 CDを取り出し、何かキーを押す



・CDをセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

システムが起動し、Windowsのセットアップが始まります。

☞ Windowsのセットアップについて ☞ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

Windows 2000 / NT モデルの場合



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
・BIOSセットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device] [2nd Boot Device] [3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

☞ BIOSセットアップについて ☞ 「5章 BIOSセットアップについて」

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などは、はずしてください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をCD-ROM装置にセットする

3 パソコンを再起動する

「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

4 Windows 2000を復元する場合には、**[1]**キーを押す

Windows NTを復元する場合には、**[2]**キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 復元の処理を開始する場合には、**[Y]**キーを押す

処理を中止する場合には、**[N]**キーを押す

6 メッセージに従い、「Product Recovery CD-ROM」を入れ替える

Windows 2000 の復元中に次のメッセージが表示された場合には、「Product Recovery CD-ROM Disk2」に入れ替えて、**[Enter]**キーを押してください。

**7** 復元が完了したら、「Product Recovery CD-ROM」を CD-ROM 装置から取り出す**8** 何かキーを押して、システムを再起動する

メモ ・CD をセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ず CD を取り出してからキーを押してください。

システムが起動し、Windows のセットアップが始まります。

☞ Windows のセットアップについて ☞ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

3

最小構成でシステムを復元する(Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルでは、Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。



・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。

1 準備

- 次のものを使用します。
 - Product Recovery CD-ROM
 - 取扱説明書（本書）

2 操作手順

注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

・BIOS セットアップの [Advanced CMOS Setup] で [1st Boot Device] [2nd Boot Device] [3rd Boot Device] の設定がご購入時の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

☞ BIOS セットアップについて ⇨ 「5 章 BIOS セットアップについて」

- 1 パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。
- 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM 装置にセットする
- 3 パソコンを再起動する
システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 4 [2]キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 5 [Y]キーを押す
処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。
ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。
- 6 CD を取り出し、何かキーを押す



・CD をセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ず CD を取り出してからキーを押してください。

システムが再起動し、Windows のセットアップが始まります。
☞ Windows のセットアップについて ⇨ 「2 章 2 初めて電源を入れるときは」

4

アプリケーションを再インストールする(Windows 98モデル)

Windows 98モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM Disk 1」を CD-ROM 装置にセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときのQ & A	182
----------	-------------------	-----



1 困ったときのQ&A

実際に本装置を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかつたり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、故障だ！とあわてる前に、この章をお読みください。

各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、『各システムに付属の説明書』をご覧ください。

アプリケーションソフトをご使用の方は、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをお読みください。

● 電源が入らない	182
● 正常に起動しない	183
● エラーメッセージが表示される	183
● Windows NTでシャットダウン後電源が切れない	183
● 画面の表示がおかしい	184
● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない	185
● マウスの操作ができない	186
● フロッピーディスク装置が使えない	186
● フロッピーディスクが使えない	187
● アプリケーションソフトが使えない	187
● ハードディスク装置が使えない	188
● CD-ROM装置が使えない	188
● サウンドが鳴らない	189
● 印刷できない	189
● テレビ、ラジオに障害が出る	190
● 省電力機能が正常に動作しない	190
● 異常や故障の場合	190
● どうしてもわからない場合	191

● 電源が入らない

状況 ● 本体の電源が入らない

確認 電源コードはパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込まれていますか？

対処 ● 電源コードをパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込んでください。

確認 電源ランプは点灯していますか？

対処 ● 電源スイッチを押してください。

確認 電源コンセントに電源が通じていますか？

対処 ● 電源の通じている電源コンセントに差ししてください。

● 正常に起動しない

状況 ● 正常に起動しない

確認 PCIカードを増設しましたか？



● BIOS セットアップの [PCI/PLUG AND PLAY SETUP] で [Clear NVRAM] を [Yes] に設定してください。

☞ BIOS セットアップについて ⇨ 「5章 BIOS セットアップについて」

● PCI スロットを変更してください。

● エラーメッセージが表示される

状況 ● 起動時にエラーメッセージが表示される

確認 システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？



● フロッピーディスクを抜き出してから、再起動する

確認

電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？



● 電源を切ってから 5 秒以上待って電源を入れてください。

状況 ● アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される



● 『アプリケーションソフトに付属の説明書』をご覧ください。

状況 ● 「CMOS checksum Bad.」というエラーメッセージが表示される

確認

内蔵バッテリーが消耗していませんか？



● 内蔵バッテリーを交換してください。

☞ 「4章 11 内蔵バッテリーの交換」

● Windows NT でシャットダウン後電源が切れない

状況 ● Windows NT でシャットダウン後、パソコン本体の電源が切れない

確認

市販の Windows NT を再インストールしましたか？



● 東芝ソフトウェアパワーオフ機能を再度インストールしてください。
インストールについてはアプリケーション CD-ROM を CD-ROM 装置に
セットし、Autorun 機能により表示される画面に従ってください。

● 画面の表示がおかしい

状 況 ● 画面に何も映らない

確認 パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

対処 ● 電源を入れてください。

確認 ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

対処 ● 電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

確認 ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

対処 ● ゆるみがないように正しく接続してください。

確認 表示自動停止機能が働いていませんか？（Windows 98 / 2000）

対処 ● **Shift** キーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

確認 USB 機器は接続していますか？

対処 ● 接続されている USB 機器によっては、USB 機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてから USB 機器の電源を入れてください。

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？

対処 ● ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。

☞ 「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」

また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行ってください。

状 況 ● 画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置等が異常である

確認 ディスプレイの輝度、コントラスト等の調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

対処 ● 輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？



●ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。

☞「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」

また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

状況 ●キーボードから入力できない

確認 キーボードケーブルのプラグをマウスコネクタに接続していませんか？



●キーボードケーブルのプラグをキーボードコネクタに接続してください。

状況 ●どのキーを押しても反応しない



●電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

状況 ●電源を入れ直しても反応しない



●**Ctrl** キーと **Alt** キーを押したまま **Delete** キーを押してください。

状況 ●**Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押しても反応しない



●リセットスイッチを押してください。

状況 ●半角の「`」(チルダ)が入力できない



●**Shift** キーを押したまま **Alt** キーを押してください

状況 ●「£」「¢」「々」などが入力できない



●OADG規格の106キーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。お使いの日本語入力システムに付属の説明書を参照してください。

状況 ●希望の文字が入力できない



●キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

● マウスの操作ができない

状況 ● マウスを操作しても反応しない

確認 マウスがキーボードコネクタに接続されていませんか？

対処 ● マウスをマウスコネクタに接続してください。

● フロッピーディスク装置が使えない

状況 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットし、**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]**キーを押しても（またはリセットスイッチを押しても）、システムが再起動しない

確認 システムが入っていないフロッピーディスクをセットしていませんか？

対処 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットしてください。

確認 フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

対処 ● 正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを一度抜いて、もう一度挿入し直してください。
どうしてもフロッピーディスク装置が使えない場合は、フロッピーディスク装置が故障している場合があるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

状況 ● FDD アクセスランプが消えない

対処 ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または**[Ctrl]**キーと**[Alt]**キーを押したまま**[Delete]**キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみても、それでもFDDアクセスランプが消えない場合は、お買い上げの販売店、もしくは同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえお近くのサービスステーションへご連絡ください。

● フロッピーディスクが使えない

状況 ●「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

確認 フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

対処 ●フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。
☞ 書き込み可能状態について ⇨ 「1章 4-4- 3.5型フロッピーディスク」

状況 ●「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

確認 フォルダは作成されていますか？

対処 ●フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

状況 ●「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

確認 ディスクの空き容量が少なくありませんか？

対処 ●不要なファイルを削除して、やり直してください。
●別のフロッピーディスクを使用してください。

状況 ●フロッピーディスク装置にフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージの画面が表示される

対処 ●メッセージ画面の [キャンセル] ボタンをクリックしたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

状況 ●フロッピーディスク装置に、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブAのディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージのウィンドウが表示される

対処 ●メッセージウィンドウの [いいえ] ボタンをクリックしてウィンドウを閉じた後、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

● アプリケーションソフトが使えない

状況 ●アプリケーションソフトが思うように動かない

確認 システム構成は正しく設定されていますか？

対処 ●アプリケーションソフトに付属の説明書を読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

状況 ●アプリケーションソフトが動かない

確認 そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？



対処

●システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。
お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

●ハードディスク装置が使えない

状況 ●データの読み / 書きができない



対処

●そのハードディスク装置は故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

●CD-ROM 装置が使えない

状況 ●CD-ROM 装置にアクセスできない

確認 CD-ROM 装置のディスクトレイはきちんとしまっていますか？



対処

●CD-ROM 装置のディスクトレイを正しく格納してください。

確認 CD がきちんとセットされていますか？



対処

●CD-ROM 装置のディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を上にして、CD をセットしてください。

確認 CD-ROM 装置のディスクトレイに異物はありませんか？



対処

●何かはさまっていたら取り除いてください。

確認 CD が汚れていませんか？



対処

●水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

確認 対応していないフォーマットのCD-ROM をセットしていませんか？



対処

●CD-ROM 装置が対応しているフォーマットのCD-ROM をセットしてください。

☞ 「1章 4-3 CD-ROM 装置について」

状況 ● CDが取り出せない

確認 電源が切れていませんか？

対処 ● 電源を入れてから、CD-ROM装置のイジェクトボタンを押してください。

サウンドが鳴らない

状況 ● 音楽用CDやWAVファイルを再生しても、音が出ない

確認 ボリュームが下がっていませんか？

対処 ● ボリュームコントロールで、音量を確認してください。

確認 スピーカが接続されていますか？

対処 ● 本体背面のLINE OUT端子にスピーカ（別売り）を接続してください。
 ⇨ スピーカの接続方法 ⇨ 「4章5 スピーカ（別売り）の接続」

印刷できない

状況 ● プリンタが動作しない

確認 プリンタの電源は入っていますか？

対処 ● 本体の電源をいったん切り、プリンタ、本体の順で電源を入れ直してください。

確認 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？

対処 ● 正しく接続してください。
 ⇨ プリンタの接続方法 ⇨ 「4章3 プリンタの接続」

状況 ● 画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

確認 アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？

対処 ● アプリケーションソフト上、またはWindowsのプリンタ設定で正しく設定し直してください。
 ⇨ 『アプリケーションソフトに付属の説明書』

● テレビ、ラジオに障害が出る

状況 ● テレビ、ラジオの調子がおかしい

確認 テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？



対処

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオから離してください。
- テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。
- 電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。
- 受信機に屋外アンテナを使ってください。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

● 省電力機能が正常に動作しない

状況 ● 省電力機能が正常に動作しない

確認 市販の PCI カードまたは USB 機器を使用していますか？



対処

- PCI カードや USB 機器の種類によっては正常に省電力機能が動作しない場合があります。BIOS セットアップの [ACPI Standby Type] を [S1/POS] に設定してください。
☞ BIOS セットアップについて ☞ 「5 章 BIOS セットアップについて」
- Windows 上の省電力機能を使用しないでください。

● 異常や故障の場合

状況 ● 異常な臭いや過熱に気がついた



対処

- 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 次のところに連絡してください。
 - ・ お買いあげの販売店それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。
 - ・ 使用している機器の名称
 - ・ ご購入年月日
 - ・ 現在の状態できるだけ詳細にご連絡ください。

● どうしてもわからない場合

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、同梱の『ユーザサポート窓口のご案内』をご覧のうえ、現在の状態をメモし、お買い上げの販売店または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにご相談ください。

付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

1	製品仕様	194
2	各インタフェース	200
3	その他の設定	206

1 製品仕様

1 仕様概要

モデルにより多少異なります。

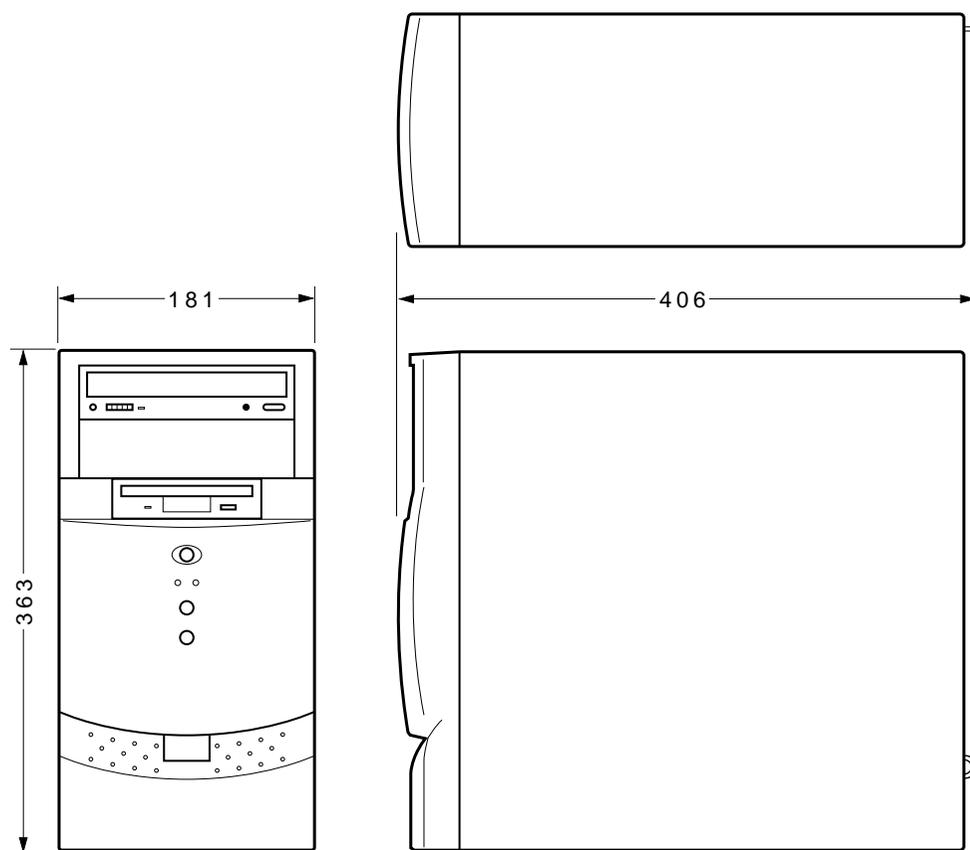
機 種		EQUIUM 3110	
プロセッサ	メインプロセッサ	Celeron™ 600MHz	
		・CACHE (32kB)・FPU内蔵 ・2次CACHE (128kB)	
メモリ	標準メモリ	DIMM 64MB SDRAM (100MHz)	
	増設メモリ	DIMMスロット×2 (内1つは標準メモリで使用) 最大512MB (256MB×2) 使用可能 DIMM 64MB / 128MB / 256MB (100MHz)	
	ROM	FLASH MEMORY 4Mbit (書き換え可能)	
表示機能	コントローラ	Intel 810e Integrated	
	ビデオRAM	メインメモリ共用	
	グラフィック表示 (ノンインタレース)	640×480	256・64k・16M色
		800×600	256・64k・16M色
1024×768		256・64k・16M色	
1280×1024		256・64k・16M色	
1600×1200	256色		
通信機能	伝送速度	100Mbps / 10Mbps	
	適合規格	100BASE-TX / 10BASE-T	
サウンド	コントローラ	810e Integrated Soft Audio	
補助記憶装置	FDD	標準	3.5型 1台装備 720kB / 1.2MB / 1.44MB (3モード)
		増設	内蔵3.5型スロットまたは5型スロット
	CD-ROM	標準	ATAPI 40倍速 (最大)
入力装置	キーボード	109キー 分離型	
	マウス	2ボタンホイール付き PS/2マウス	
システム制御		PCI (Peripheral Component Interconnect)	
ファイル スロット	3.5型 ドライブキャリア	3スロット (内2つはFDDとHDDで使用)	
	5型 ファイルスロット	2スロット (内1つはCD-ROMで使用)	

機 種		EQUIUM 3110
インタフェース	シリアル	1ポート D-Sub 9ピン、16C550互換
	パラレル	1ポート セントロニクス準拠
	ディスプレイ	1ポート アナログ RGB セパレート信号出力、ミニD-sub15ピン(3列タイプ)
	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート RJ-45 (PCカード上に装備)
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子
	USB	2ポート *1
	MIDI/ ジョイスティック	1ポート
拡張スロット	PCI	PCIフルサイズ x3 *2
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年
特殊機能	パワーマネージメント	HDD : パワーダウン
	PnP	Plug & Play対応BIOS *1
電源	電源条件	100V 50/60Hz
	最大消費電力	75W
周囲温度	動作	10 ~ 35
	非動作	- 20 ~ 60
相対湿度	動作	20%Rh ~ 80%Rh (ただし結露しないこと)
	非動作	10%Rh ~ 90%Rh (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	181(W) x 406(D) x 363(H) mm
	キーボード	480(W) x 167(D) x 42(H) mm (非チルトアップ時)
質量	本体	約9.0kg
	キーボード	約0.9kg

*1 Windows NT4.0 をご使用の場合は、サポートされません。

*2 内蔵 3.5 インチベイに増設した場合は、290mm 以下となります。

2 外形寸法図



(单位：mm)

3 メモリマップ

アドレス	容量	定義
00000000	512/640kB	システムボードRAM
000A0000	128kB	ビデオメモリエリア
000C0000	128kB	BIOSエリア他
000E0000	128kB	システム BIOSエリア他
00100000	~511MB	システムボードRAMエリア
20000000		

4 I/O マップ

アドレス	サイズ	Plug & Play	I/O
0000-000F	16バイト	N/A	DMA CONTROLLER 1
0020-0021	2バイト	N/A	INTERRUPT CONTROLLER 1
0040-0043	4バイト	N/A	TIMER 1
0048-004B	4バイト	N/A	TIMER 2
0060	1バイト	N/A	KEYBOARD CONTROLLER DATA BYTE
0061	1バイト	N/A	NMI STATUS & SPEAKER CNTRL
0064	1バイト	N/A	KEYBOARD CONT. CMD/STATUS BYTE
0070-007F	16バイト	N/A	REAL-TIME CLICK, NMI MASK
0080-008F	16バイト	N/A	DMA PAGE REGISTERS
00A0-00A1	2バイト	N/A	INTERRUPT CONTROLLER 2
00C0-00DE	31バイト	N/A	DMA CONTROLLER 2
00E0-00EF	16バイト	N/A	RESERVED
00F0	1バイト	N/A	CLEAR MATH COPROCESSOR ERROR
00F1	1バイト	N/A	RESET MATH COPROCESSOR
0F8-0FF	8バイト	N/A	MATH COPROCESSOR
170-177	8バイト	NO	SECONDARY IDE CHANNEL
1F0-1F7	8バイト	NO	PRIMARY IDE CHANNEL
200,202,207	3バイト	YES(Rev 1.1)	GAME I/O
220-22F	17バイト	YES(Rev 1.1)	SOUND PORT
238-23F	8バイト	YES	SERIAL PORT 4 (USED FOR REMAPPING)
278-27F	8バイト	YES	PARALLEL PORT 2
2B0-2DF	48バイト		ALTERNATE EGA ADAPTER
2F8-2FF	8バイト	YES	SERIAL PORT 2
338-33F	8バイト	YES	SERIAL PORT 3 (USED FOR REMAPPING)
370-375	6バイト	YES	FLOPPY CONT. (SECONDARY ADDRESS)
376	1バイト	NO	SECONDARY IDE CHANNEL CMD PORT
377	1バイト	NO	SECONDARY IDE CHANNEL STAT PORT
378-37F	8バイト	YES	PARALLEL PORT 1
3B0-3B8	16バイト		MONO DISPLAY & PRINTER ADAPTER
3C0-3CF	16バイト		EGA ADAPTER
3D0-3DF	16バイト		CGA ADAPTER
3F0-3F5,3F7	7バイト	YES	FLOPPY CONTROLLER (PRIMARY)
3F8-3FF	8バイト	YES	SERIAL PORT 1
CF8-CFF	8バイト	N/A	PCI CONFIGURATION SPACE

5 割り込みレベル・DMAチャンネル

● 割り込みレベル

IRQ	Channel
0	Interval Timer
1	Keyboard
2	IRQ from Second Interrupt
3	USB
4	Serial Port
5	User
6	Floppy
7	Parallel Port 1
8	Real Time Clock
9	Sound
10	VIDEO
11	Sound / LAN
12	Mouse Port
13	Math coprocessor
14	Primary IDE
15	Secondary IDE

ソフトウェアによって変更される場合があります。

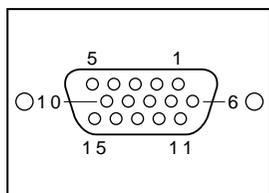
● DMA チャンネル

DMA	幅	Channel
0	8/16ビット	User
1	8/16ビット	User
2	8/16ビット	Floppy
3	8/16ビット	Parallel Port
4	-----	16-Bit DRQ/DACK from Second DMA
5	16ビット	User
6	16ビット	User
7	16ビット	User

② 各インタフェース

① RGB インタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Unused	未使用	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

② RGB インタフェースの同期信号

● 解像度・色数・走査線

解像度	640×480		800×600		1024×768		1280×1024
色数	256・32K ・64K・16M		256・32K ・64K・16M		256・32K ・64K		256
走査方式	Ni	NiFF	NiFF	NiFF	NiFF	NiFF	Ni
水平同期(KHz)	31.5	37.5	46.9	53.7	60.0	68.7	64.0
垂直同期(Hz)	60.0	75.0	75.0	85.0	75.0	85.0	60.0

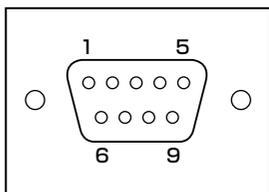
- ・色数 256 : 256 色、32k : 32,768 色、64k : 65,536 色、16M:1,677 万色
- ・走査方式 Ni : ノンインタレース、NiFF : ノンインタレースフリッカフリー

ご使用になれる解像度、色数は、接続するディスプレイによって異なります。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

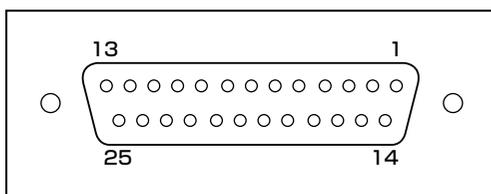
③ シリアルインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グラウンド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

④ パラレルインタフェース

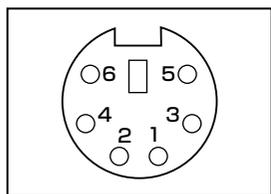


(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	-STROBE	PDO～PD7のデータを書き込むための同期用出力信号	O
2～9	PDO～PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト/ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18～25	GND	信号グラウンド	

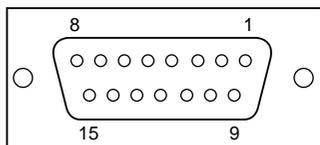
5 キーボード・マウスインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



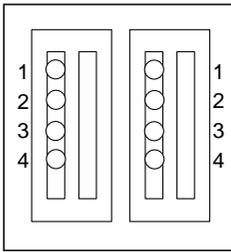
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グラウンド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

6 MIDI/ ジョイスティックインタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	Joy Stick But 0	I/O
3	Joy Stick x1	I/O
4	GND	
5	GND	
6	Joy Stick Y1	I/O
7	Joy Stick But 1	I/O
8	+5V	
9	+5V	
10	Joy Stick But 2	I/O
11	Joy Stick x2	I/O
12	MIDI OUT	I/O
13	Joy Stick Y2	I/O
14	Joy Stick But 3	I/O
15	MIDI IN	I/O

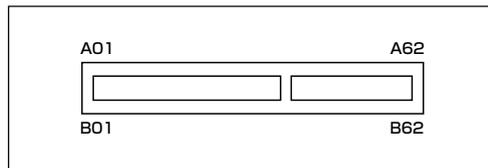
7 USB インタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

8 拡張スロット (PCI タイプカード用)

PCIタイプカード



付
録

● 拡張スロット(PCIタイプ)

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	O	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	O	予約	
12	GND		GND	
13	GND		GND	
14	予約		予約	
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		予約	
20	AD [31]	I/O	AD [30]	I/O
21	AD [29]	I/O	+3.3V	
22	GND		AD [28]	I/O
23	AD [27]	I/O	AD [26]	I/O
24	AD [25]	I/O	GND	
25	+3.3V		AD [24]	I/O
26	C/BE [3] #	I/O	IDSEL	I
27	AD [23]	I/O	+3.3V	
28	GND		AD [22]	I/O
29	AD [21]	I/O	AD [20]	I/O
30	AD [19]	I/O	GND	
31	+3.3V		AD [18]	I/O
32	AD [17]	I/O	AD [16]	I/O
33	C/BE [2] #	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	SDONE	I/O
41	+3.3V		SBO#	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE [1] #	I/O	AD [15]	
45	AD [14]	I/O	+3.3V	
46	GND		AD [13]	I/O
47	AD [12]	I/O	AD [11]	I/O
48	AD [10]	I/O	GND	
49	GND		AD [09]	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD [08]	I/O	C/BE [0] #	I/O
53	AD [07]	I/O	+3.3V	
54	+3.3V		AD [06]	I/O
55	AD [05]	I/O	AD [04]	I/O

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
56	AD [03]	I/O	GND	
57	GND		AD [02]	I/O
58	AD [01]	I/O	AD [00]	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64#	I/O	REQ64#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

● 拡張スロットの電流容量

拡張スロット全体（オプションカード、増設ハードディスク装置、5型装置のすべてを含む）で使用可能な電流容量は次のとおりです。

拡張スロットの取り付けの際は、次の制限を必ず守ってください。

● 拡張スロットの許容電流値

電流容量	拡張スロットの合計
+5V	2.25A以下
+12V	1A以下
-12V	0.15A以下
+3.3V	3A以下

3 その他の設定

1 Windows 98 モデル

● DDC 機能について

EQUIUM シリーズでは、VESA(Video Electronics Standard Association)準拠の DDC(Display Data Channel)機能を持っており、プラグアンドプレイに対応していません。DDC 機能とは、モニタとの通信機能のことです。

ただし、ディスプレイが対応していない場合は、DDC 機能は使用できません。ディスプレイに付属のマニュアルでご確認ください。

● DirectX について

● DirectX のインストールについて

本装置にはすでに DirectX7 ドライバがインストールされています。

ゲームなどをインストールするときに、DirectX のインストールを促す画面が表示される場合がありますが、DirectX7 ドライバを置き換えないことをおすすめします。

インストールをする場合は、内容をよく理解したうえで、お客様の責任においてインストールを行なってください。



・DirectX7 を置き換えてしまった場合、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。

● ディスプレイアダプタの設定について

ゲームをインストールした後に、次の「ディスプレイアダプタの確認」で、ディスプレイアダプタの設定内容を確認してください。工場出荷時の設定は次のとおりです。

ディスプレイアダプタ : Intel (r) 82810E Graphics Controller

ディスプレイアダプタの設定が異なる場合は、「ディスプレイアダプタの変更」で、アプリケーション CD からインストールし直してください。



・ディスプレイアダプタが変更された状態のままでは、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。

・ディスプレイの名称については、[スタート] メニューから [はじめに] - [リソース情報] をクリックして表示される [出荷時の設定について] をご覧ください。

● ディスプレイアダプタの確認

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

2 [画面] アイコンをダブルクリックする

[画面のプロパティ] のウィンドウが表示されます。

3 [設定] タブをクリックする



4 [詳細] をクリックする

[XXXXX (ディスプレイアダプタ名)のプロパティ] または [ディスプレイの詳細プロパティ] ウィンドウが表示されます。



5 [アダプタ] タブをクリックする

[Intel (r) 82810E Graphics Controller] が表示されているか確認します。確認後、[キャンセル] ボタンをクリックして作業を終了します。

ディスプレイアダプタの変更

- 1 「アプリケーション&ドライバCD-ROM」をCD-ROM 装置にセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

② Windows NT モデル

● Service Pack6 のインストールについて

ネットワークドライバなどを追加／変更した場合に、Service Pack6 を再インストールする必要があります。

次の手順に従って、インストールを行なってください。

- 1 Administrators グループのユーザアカウントでログオンする**
- 2 「Windows NT Service Pack 6a Disc1」のCDをセットする**
- 3 「スタート」 - 「ファイル名を指定して実行」をクリックする**
- 4 「D:¥i386¥UPDATE¥Update.exe」と入力する**
「D:」はCD-ROMドライブの場合です。
- 5 [OK] ボタンをクリックする**
インストールが開始されます。表示されるメッセージに従ってインストールしてください。
インストールが完了すると、メッセージが表示されます。
- 6 [再起動] ボタンをクリックする**
パソコンを再起動します。